

環境活動レポート

＜エコアクション21＞

《第38期》

2008年01月16日
中島精工株式会社

1 環境方針

《基本理念》

中島精工株式会社の全社員は、環境問題が人類共通の最重要課題であるとの認識のもと、地球環境と地域社会との共生を目指し、環境保全に配慮した事業活動を行ないます。

《基本方針》

- (1) 当社は、各種リードフレームの生産・販売をしております。すべての活動において環境保全に努め「地球に優しい企業」を目指します。
- (2) 全社員が環境に与える影響を的確に把握し、環境保全と汚染予防の活動を継続的に実施します。
- (3) 環境関連の法律、規制、条令及び当社が受け入れを決めた基準を遵守します。
- (4) エネルギー・廃棄物等を削減し、また、分別を徹底することによる再資源化を推進します。
- (5) この環境方針を全社員に周知すると共に、一般に公開します。

2004年6月1日

代表取締役 中島 洋衛



2. 会社概要

名 称 中島精工株式会社

代表者名 代表取締役 中島 洋衛

設 立 昭和44年10月

資本金 1,000万円

売上高 49,100万円(第38期実績)

所在地 〒387-0001 長野県千曲市大字雨宮926-1
TEL:026-272-2148 FAX:026-272-2015

従業員数 23名

事業内容 TN液晶表示(LCD)用リードフレームを中心とした、精密電子部品の技術開発から量産まで一貫して手がけています。特に高い信頼性が要求される車載用LCDのリードフレーム分野では、国内トップクラスのシェアを誇ります。
また、当社独自の製造装置は優れた生産技術との融合により、無人運転を実現しています。

営業品目 LCD用リードフレーム、HIC用リードフレーム

環境管理責任者 管理部 課長補佐 中島 高広

事業規模

	第36期	第37期	第38期
売上額	44,100万円	54,300万円	49,100万円
従業員数	23人	23人	23人
延べ床面積	1,038㎡	1,038㎡	1,038㎡

3. 環境目標とその実績

(1) 中長期及び第39期目標(対38期比)

管理項目	第38期 実績	第39期 目標	第40期 目標	第41期 目標
1,000shotあたりの電気使用量(kw/kshot) ^(注)	0.449	0.445	0.442	0.440
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /kshot)	0.170	0.168	0.167	0.166
削減率(%)	—	1.0	1.5	2.0
灯油使用量(ℓ)	2,846	2,818	2,803	2,789
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	7,092.03	7,022.26	6,984.88	6950.19
削減率(%)	—	1.0	1.5	2.0
廃棄物(可燃ごみ)排出量(kg)	1,632.4	1,616	1,608	1,600
削減率(%)	—	1.0	1.5	2.0
水道使用量(m ³)	138.0	136.6	135.9	135.2
削減率(%)	—	1.0	1.5	2.0

(注) kw/kshot: プレス機の打ち抜き数 1,000shot(1,000回)あたりの電気使用量

(2) 第38期環境目標とその実績(対37期比)

管理項目	第37期実績	第38期目標	第38期実績
1,000shotあたりの電気使用量(kw/kshot) ^(注)	0.450	0.441	0.449
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /kshot)	0.170	0.167	0.170
削減率(%)	—	2.0	0.2
灯油使用量(ℓ)	3,282	3,216	2,846
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	8,178.51	8,014.94	7,092.03
削減率(%)	—	2.0	13.3
廃棄物(可燃ごみ)排出量(kg)	2,875	2,818	1,632.4
削減率(%)	—	2.0	43.2
水道使用量(m ³)	140.0	138.0	138.0
削減率(%)	—	1.5	1.5

(注) kw/kshot: プレス機の打ち抜き数1,000shot(1,000回)あたりの電気使用量

4. 環境活動計画の内容

(1) 電力消費量の削減

1. 昼休みの照明は、必要最小限にする
2. エアコン使用時間・温度管理の徹底
3. 定期的なエアコンのフィルター清掃(冷暖房効率アップ)
4. 電気ストーブの使用頻度削減

(2) 灯油使用量の削減

5. 石油ストーブの温度管理の徹底

(3) 廃棄物排出量の削減

6. 社内文書の電子化(印刷物削減)
7. ゴミの分別の徹底(リサイクル促進)
8. 個人で持ち込んだゴミの持ち帰りの徹底

(4) 水道使用量の削減

9. 手洗い中の止水の徹底

(5) その他

10. ウォームビズの促進

5. 環境活動の取組結果の評価

(1) 電力消費量(1,000shotあたりの電力消費量)

当社では生産設備に使用される電力の占める割合が多いため、生産量の違いにより電力消費量が大きく異なる傾向がある。

そのため、プレス機の打ち抜き数1,000shot(1,000回)あたりの電力消費量を管理するようにし、生産量の違いによる影響を最小限にしている。

エコアクション21活動当初は、上記のように生産設備の稼働状況による影響が大きく出ると予想していたが、38期の実績を見てみると電力消費量(kw/kshot)は0.2%の減少だが、電力使用量(kw)だけを見ると19.6%減少している事が確認された。

38期は37期と比較して、プレス稼働率が落ちた事による影響も大きいと予想されるが、やはり社員個々の意識向上がなければ、このような結果にはならなかったと思われる。

(2) 灯油使用量

37期の実績でかなりの効果を上げた灯油使用量だが、38期においても目標値を大きくクリアでき、良い傾向にあると判断できる。

39期は工場の移設により、灯油を使用した暖房器具の使用箇所が減少したため、灯油の使用量も激減すると予想される。

(3) 廃棄物(可燃ごみ) 排出量

38期で一番効果があったのが、可燃ごみの排出量だった。

これは、資源のリサイクル化と個人で持ち込んだゴミは個人で持ち帰る活動が功を奏した結果と判断できる。今後も削減に向けて努力して行きたい。

(4) 水道使用量

38期は目標値を何とかクリアできたが、この要因としては新社屋建設に関わる水道水の使用(ポーリング調査)やトイレの一部水洗化による影響があった判断する。

39期はトイレが完全に水洗化になった事より、水道使用量が大幅に増加するのではと予想される

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社が遵守する環境関連法規の遵守状況について、環境管理責任者の中島高広が中心となりチェックを行い、現在及び過去3年間問題のないことを確認しました。また、関係機関からの指摘や周辺住民からの苦情等はなく、訴訟等もありませんでした。

以上